

平成 31 年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

## 小 論 文

### 解答上の注意

1. 問題文は 10 頁、解答用紙は 1 枚（表・裏）、下書用紙は 1 枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問 1 を表に、問 2 を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書用紙は、持ち帰ってください。

## 問題

[問題文] を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

問 1 下線部 (A) 「ヨナスの論拠もハーバーマスの論拠も、脆弱であるように思われる」について、[問題文] に示されたそれぞれの論拠の内容をふまえて、筆者がなぜそう考えたかを説明しなさい。(句読点も 1 字と数え、800 字以内とする。)

問 2 「人間の尊厳」という概念の内容を、[問題文] に示された議論をもとに説明したうえで、この概念との関係で、今日の社会において現に生じうる問題を、人のクローニングの是非以外に一つ挙げ、その問題に対する自身の考えを述べなさい。(句読点も 1 字と数え、1000 字以内とする。)

[問題文]

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【[問題文] は西野基継『人間の尊厳と人間の生命』〔成文堂、2016 年〕P273～285 からの抜粋である。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】